

稲沢市議会 議会報告会 報告書

開催日時	令和6年5月25日(土)	
	午前の部	午後の部
	午前10時～午前11時30分	午後2時～午後3時30分
開催会場	祖父江生涯学習センター「ソブエル」	稲沢市勤労福祉会館
来場者	46人	42人
出席議員	25名	26名

■ 概 要

第1部：報告会	第2部：意見交換会
<ul style="list-style-type: none"> (1) 開会の挨拶 (2) 議長挨拶 (3) 総務委員会の報告 (4) 文教厚生委員会の報告 (5) 経済建設委員会の報告 	<ul style="list-style-type: none"> (1) テーマの説明 (2) テーマに関する意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会：シティプロモーションについて ・文教厚生委員会：フレイル予防について ・経済建設委員会：災害対策について (3) 閉会の挨拶

■ 委員会からの総括

<総務委員会> テーマ「シティプロモーションについて」

～稲沢市の魅力度向上と地域経済の活性のためには～

「シティプロモーション」に関して意見交換会の場で様々な意見をいただき、多くの市民の方が、市の魅力向上や地域発展に関心を寄せられ、「稲沢を良くしたい」との強い思いをお持ちであると改めて感じました。

ご意見の中に「シティプロモーションの目的は、定住か、それとも魅力を知ってほしいという意味か」というものがありました。稲沢市では、シティプロモーションの意義を「本市に住むことの魅力を発掘・再発見して高め、20～30代の若者をメインターゲットとし市内外にその魅力を伝えることで、移住定住人口を増やし、市の持続的発展につなげる」としています。意義について、まだまだ浸透していないようですので、引き続き周知に努めてもらいたいと思います。

また印象深かったご意見の一つに「一宮市は人口の社会減を防ぐために職員一丸となって取り組んでいる。稲沢市も取り組んでほしい。」というものがありました。稲沢市では、今年度、有識者を招いて、職員を対象にシティプロモーションの目的や手法などをテーマに講義を行う予定であり、専門的知識の習得と横断的な連携体制の強化により、職員一丸となった効果的なPRにつながることを期待します。

その他、稲沢公園やサリオパーク祖父江、荻須記念美術館などの施設、あじさいまつりや梅まつり等の催し、またウルフドッグス名古屋などのPRについてもご提案いただきました。「人を集める地理的条件は整っている」とのご指摘もあったように発展のポテンシャルが高いまちでもあります。こういった魅力を、様々な機会や広報ツールを通して積極的にPRしていくよう望むものです。

「議員としても知恵を出して、働きかけてほしい」というお言葉もありました。我々議員も職員とともに、市の魅力の向上のために行動してまいります。

<文教厚生委員会> テーマ「フレイル予防について」

～高齢者が元気で健康な生活を送るには～

分科会では、市民の皆さまに多くの質問、ご要望をいただきました。

まず、フレイル予防の講習会のPRの充実について意見をいただきました。現在、ホームページや広報「いなざわ」、地域包括支援センターで広報しています。広報活動の場所の増設や講座数も多いことから、案内方法に工夫するように要望しました。

また、認知症など加齢に伴う相談機関についても質問がありました。地区の地域包括支援センターが相談機関となりますので、ご活用ください。

公共交通機関への利用促進のご意見としては、認知症では運転ができないため、免許を返した方にタクシー券を配布することや、コミュニティバスの料金をもう少し安くすること、老人パスの発行を求める声がありました。さらに、お出かけタクシーは午前中予約が取りづらいことや、コミュニティバスの路線増設のご意見もいただきました。

また、高齢者の方が社会との繋がりを持つための子どもの見守りボランティア活動や防災訓練の中にフレイル予防の講習を組み込むこと、高齢者が参加できる生涯スポーツを取り入れることなど

の工夫も提案をいただきました。

加えて、ウォーキングスペースの充実や高齢者ふれあいサロン、老人会への助成金の充実についてご意見をいただきました。

分科会でのご意見については、文教厚生委員会で課題として共有して、担当課へ伝えます。ご理解賜りますよう、宜しくお願いします。

最後に、分科会へご参加いただき、ありがとうございました。

<経済建設委員会> テーマ「災害対策について」

参加された複数の方から、「自分の命は自分で守る」という事や食料や簡易トイレなどの備蓄についても各家庭で努力すべきとの声を頂き、自助が一番大事だという意識が高まっていることに大変強く感じました。また、稲沢市は液状化の危険が高いということも多くの方が理解されていて、ハザードマップを意識して見られていることもよくわかりました。

耐震改修や家具転倒防止器具等など各種補助金について知らない市民が多いので、市からの周知はもちろんですが、議員自ら発信するようというご意見に対しましては、各議員がそれぞれの活動の中で周知・啓発に努めてまいります。

液状化や建物の倒壊で緊急輸送道路が通行できなくなると、物資など届かないことへのご心配の声や、防災訓練の在り方と防災倉庫の中身の公開、鉄道利用の帰宅困難者への対応、災害に強いまちにするための電柱の地中化については、これまでも議員から指摘や要望を行っていますが、再度経済建設委員会からも市側へ要望をしてまいります。

当日は時間の関係上、参加された全ての方にご発言を頂けなかったことに深くお詫び申し上げます。

ご参加いただき、また貴重なご意見やご要望を頂きまして誠に有難うございました。

■ 広報広聴委員長の総括

今年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症（対策）のため、5年ぶりの開催となりましたが約90名の市民の皆様にお越し頂きありがとうございました。

今年度は、1人でも多くの皆様に議会報告会の開催と議会活動、議員活動を知っていただけるよう、チラシ配布を前回までの駅から商業施設へ。また、会場も午前、午後の2会場へ変更しての開催させていただくと共に、ご来場いただいた皆様からのアンケートとは別に議員全員からも開催後アンケートを実施しました。

今回、市民の皆様から頂いたアンケートやご意見ご要望も今後の議会活動に反映させて頂き、今後のより良い報告会、議会活動に繋げていきます。

以上